

Makita

取扱説明書



二重絶縁

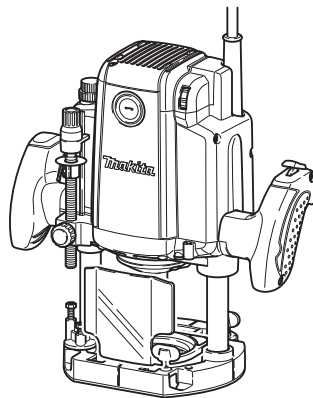
このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

ルータ

回 モデル **RP1801**
(ブレーキ付)

電子ルータ

回 モデル **RP2301FC**
(ブレーキ付・無段変速)



このたびはルータ、電子ルータをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ ルータ安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	18
・ ビットの取り付け・取りはずし方	18
・ 切り込み深さの調節	19
・ ナイロンナット	20
・ ストップブロックの使用方法	20
・ ストレートガイド	21
・ 溝を切る位置が材料の端から遠く離れている場合	22
・ テンプレートガイド	22
・ スイッチの操作	23
・ スピード調整ダイヤルの操作（モデル RP2301FC のみ）	24
・ ライトの点灯（モデル RP2301FC のみ）	25
・ 加工方法	26
・ 切り込み深さ調整用ナベ小ネジ M6 × 135 の使用方法	27
・ 切り込み深さ調整	28
・ 別販売品の使い方	29
・ トリマガイド	29
・ 保守・点検について	30
・ カーボンブラシの交換	30
・ 本製品のお手入れ	30
・ ご修理の際は	30

主要機能

主要機能 \ モデル	RP1801	RP2301FC
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	15 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	1,430 W	
回転数	22,000 min ⁻¹ (回転 / 分)	9,000 ~ 22,00 min ⁻¹ (回転 / 分)
チャック孔径	φ 12 mm	
本製品昇降範囲	0 ~ 70 mm	
本製品寸法	長さ 294 mm × 幅 155 mm × 高さ 312 mm	
質量	6.0 kg	6.0 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
 - ・ 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
 - ・ ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。
10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

＜異常・故障例＞

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ルータとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があるとビットが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本製品を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切りくずなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ビットなどの工具類や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転中のビットにコードが接触しないようにしてください。
 - ・ 感電の原因になります。
3. ビットを取り扱うときには、刃先に十分注意してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. き裂があるもの、変形したもの、指定外のビットは使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 材料は確実に固定してください。
 - ・ 確実に固定しないと、けがの原因になります。
6. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、思わぬけがの原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
8. 作業直後のビットは大変熱くなっていますので触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
9. 使用中以外はビットをベース面より引っ込めておいてください。
 - ・ けがの原因になります。
10. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

注

- ・ 材料を加工した後、本製品を持ち上げたり、移動させたりするときは、ビットの回転が完全に止まってから行ってください。
- ・ 材料を傷つける恐れがあります。
- ・ シンナー、ガソリン、油などの薬品類がベースにつくと、ひび割れなどすることがありますので十分に注意してください。
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

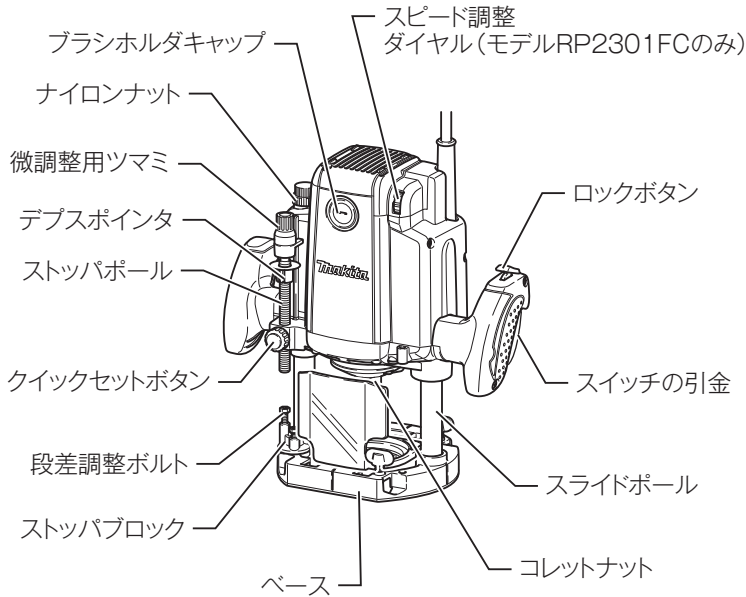
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 7 A	—
0.75 mm ²	20 m	10 m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



イラストはモデルRP2301FC

標準付属品

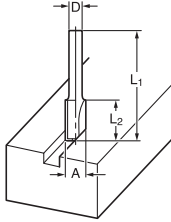
- ・ ガイドホルダ
- ・ ストレートガイド
- ・ ストレートビット 12mm
- ・ テンプレートガイド 16
- ・ コレットスリーブ 6mm・8mm
- ・ スパナ 24
- ・ 切り込み深さ調整用ナベ小ネジ M6 × 135

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

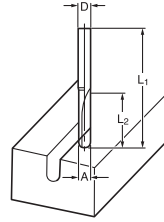
・ ビット

・ ストレートビット



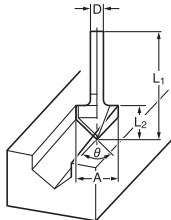
呼び寸法 (A)	部品番号	D	L1	L2
3	D-08084	6	49	9.5
4	D-08090	6	57	10
5	D-08109	6	48	12
6 (1枚刃)	D-08115	6	50	18
6	D-08121	6	52	16
7	D-08137	6	59	25
8	D-08143	6	52	20
9	D-08159	6	57	25
10	D-08165	6	57	25
12	D-08171	6	64	32
15	D-08187	6	52	20
20	D-08193	6	52	20
8	D-18873	8	60	25
10	A-22969	12	60	25
12	D-18998	12	60	30
6 (樹脂用)	D-29430	6	50	18

・ U溝ビット



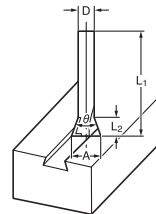
呼び寸法 (A)	部品番号	D	L1	L2	R
6	D-08202	6	48	13	3
12	D-21515	12	55	20	6

・ V溝ビット



呼び寸法	部品番号	D	L1	A	L2	θ
20	D-08470	6	48	20	16	90°

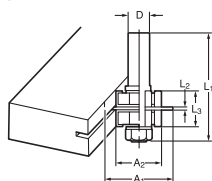
・ アリ溝ビット



呼び寸法	部品番号	D	L1	A	L2	θ
12	D-21490	8	50	12	9	30°
15L	D-18889	8	55	14.5	14.5	23°
15S	D-21509	8	55	14.5	10	35°

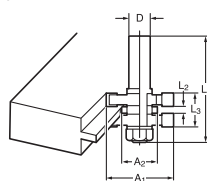
別販売品のご紹介

・ ハギ合わせビット凹



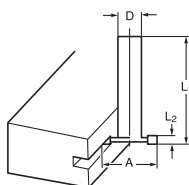
呼び寸法	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3
—	D-18910	12	63	38	26	4	20

・ ハギ合わせビット凸



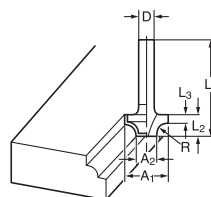
呼び寸法	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3
—	D-18904	12	63	38	27	4	20

・ 横溝ビット



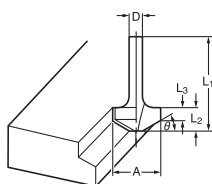
呼び寸法 (L2)	部品番号	D	L1	A
3	D-21456	12	55	30
6	A-23123	12	55	30

・ 丸面ビット



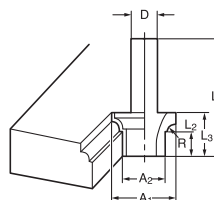
呼び寸法 (R)	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3
4R	D-08230	6	41	16	8	9	5
8R	A-23151	6	48	25	9	13	5
8R	D-08246	6	45	25	9	13	5
6R	D-21484	12	50	20	8	10	4

・ カク面ビット



呼び寸法 (θ)	部品番号	D	L1	A	L2	L3
30°	D-08252	6	47	20	15	9.2
45°	D-08268	6	47	20	15	5
60°	D-08274	6	53	19	20	4

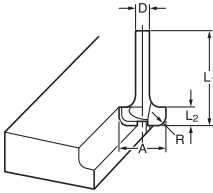
・ ギンナン面ビット



呼び寸法	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3	R
—	D-18895	12	55	30	20	20	12	4

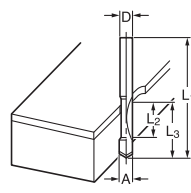
別販売品のご紹介

・ サジ面ビット



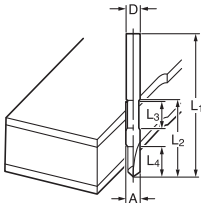
呼び寸法 (R)	部品番号	D	L1	A	L2
4R	D-08280	6	40	20	8
8R	D-08296	6	45	25	13

・ フラッシュビット (片面)



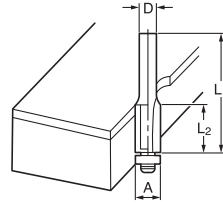
呼び寸法 (A)	部品番号	D	L1	A	L2
6	D-08218	6	65	19	32
8	D-17859	8	60	20	35
12	D-17865	12	60	20	35

・ フラッシュビット (両面)



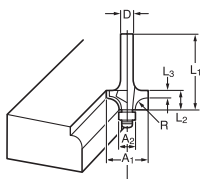
呼び寸法 (A)	部品番号	D	L1	L2	L3	L4
6	D-08224	6	80	47	20	16
8	D-21434	8	80	55	20	25
12	D-21440	12	80	55	20	25
12 (両面刃)	D-17871	12	85	60	24	22.5

・ コロ付フラッシュビット



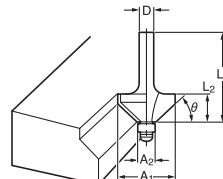
呼び寸法	部品番号	D	L1	A	L2
—	D-08355	6	58	9.5	25.4

・ コロ付丸面ビット



呼び寸法 (R)	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3
3R	D-08305	6	42	19	13	9.5	6.5
4R	D-08311	6	42	21	13	9.5	5.5
6R	D-08327	6	45	25	13	13	6.7
7.5R	D-08333	6	45	28	13	13	5.2
9R	D-08349	6	46	31	13	14	5

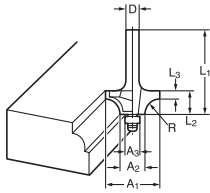
・ コロ付カクメンビット



呼び寸法 (θ)	部品番号	D	L1	A	L2	L3
45°	D-08361	6	42	26	13	9.5
60°	D-08377	6	43	23	13	11

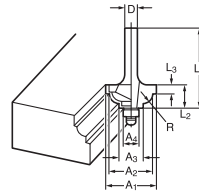
別販売品のご紹介

・ コロ付ギンナン面ビット



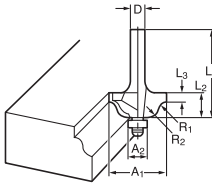
呼び寸法(R)	部品番号	D	L1	A1	A2	A3	L2	L3
2R	D-08399	6	40	17	13	10	7.5	5.5
3R	D-08383	6	42	19	13	10	9.5	6.5
4R	A-24819	6	40	20	12	8	10	5.5
4R	D-08408	6	42	21	13	10	9.5	5.5
5R	D-08414	6	42	23	13	10	9.5	4.5
7R	D-21478	6	42	26	12	8	12	4.5
8R	D-08420	6	45	28	13	10	13	5

・ コロ付両段サジ面ビット



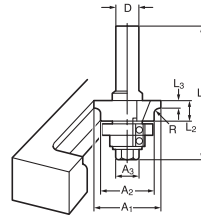
呼び寸法(R)	部品番号	D	L1	A1	A2	A3	A4	L2	L3
3R	A-24832	6	40	20	18	12	8	10	5.5
3R	D-08436	6	42	22	19	13	9.5	10	7
5R	A-24848	6	42	26	22	12	8	12	5
5R	D-08442	6	44	26	23	13	9.5	12	7

・ コロ付ヒョウタン面ビット



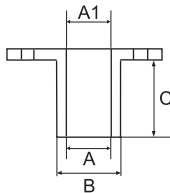
呼び寸法(R1/R2)	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3
2.5/4.5R	A-24854	6	40	20	8	10	4.5
2.5/4.5R	D-08458	6	42	24	9.5	10	3
3/6R	A-24860	6	42	26	8	12	4.5
3/6R	D-08464	6	44	28	9.5	12	3

・ コロ付隅丸ビット



呼び寸法	部品番号	D	L1	A1	A2	L2	L3	R
—	D-17887	12	70	35	27	11	3.5	3

・ テンプレートガイド



呼び寸法	部品番号	A	A1	B	C
9.5	164379-4	7.7	7.7	9.5	11.5
11	164775-6	9	9	11	13
12	164388-3	10	10	12	9
13	164776-4	11	11	12.7	13
16	344364-5	14	14	16	13
20	164393-0	18	18	20	13
27	164470-8	24	24	27	13
30	164471-6	27	27	30	13
40	164472-4	37	27	40	13
40	165046-4	37	37	40	13

別販売品のご紹介

- ・ コレットスリーブ 6
部品番号：763801-4
- ・ コレットスリーブ 8
部品番号：763804-8
- ・ ダストノズルセット品
部品番号：194934-8
(当社集じん機に接続して使用しますと、切りくずが飛び散らず清潔な作業ができます。)
- ・ トリマガイド
部品番号：123022-4

使い方

ビットの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ビットや付属品などの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

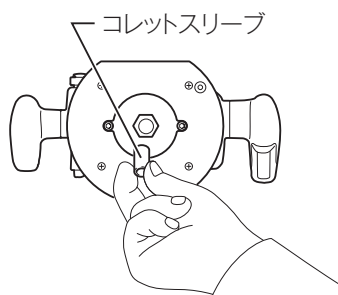
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

ビットの取り付けは付属のスパナ以外の工具は使わないでください。

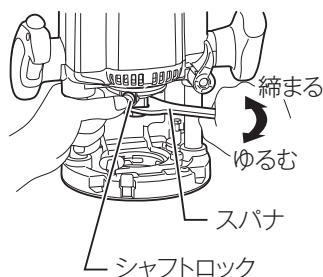
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取り付け方

- ・ 軸径 6 mm・8 mm のビットを使う場合は、コレットスリーブをチャック孔に挿し込んだ後、ビットを取り付けてください。



- ・ コレットナットをゆるめ、チャック孔にビットを深く挿し込んでください。シャフトロックを押してシャフトを固定し、スパナ 24 でコレットナットをしっかり締め付けます。



注

- ・ ビットを取り付けずにコレットナットを締め付けしないでください。コレットコーンが破損する原因となります。

取りはずし方

- ・ ビットを取りはずす場合は、ビットの取り付け方の逆の要領で取りはずしてください。

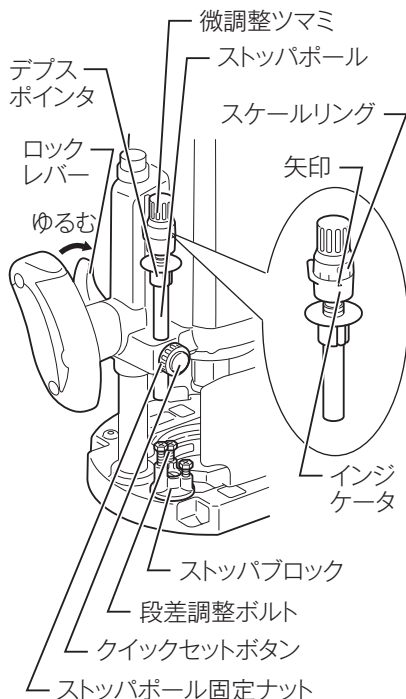
使い方

切り込み深さの調節

- ・ 本製品を平坦な所に置き、ロックレバーをゆるめてビット先端が材料に当たる位置まで本製品を下げて、ロックレバーで固定してください。
- ・ ストップボール固定ナットを左に回し固定を解除したあとクイックセットボタンを押してストップボールを段差調整ボルトに当たるまで下げてください。
- ・ デプスポインタを下までおろし、スケールの0（ゼロ）に合わせてください。
- ・ デプスポインタが挿し示すスケールの目盛が切り込み深さに相当します。

必要な切り込み深さになるようクイックセットボタンを押しながらストップボールを引き上げ調整してください。スケールリングの0の位置をインジケータの矢印に合わせてください。

- ・ 切り込み深さの微調整はストップボールの微調整ツマミを回して調整してください（1回転 1.0 mm）。
- ・ ストップボール固定ナットを右に回し、締め付けることによりストップボールをより確実に固定できます。
- ・ ロックレバーをゆるめて、ストップボールがストップブロックの段差調整ボルトに当たる位置まで本製品を下げれば、セットした切り込み深さが得られます。



使い方

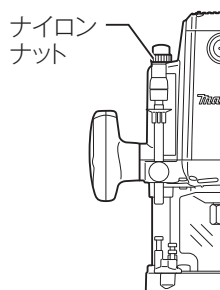
ナイロンナット

⚠ 警告

本製品を上限の位置にしたとき、ビットの先端がベース面より出ないようにしてください。

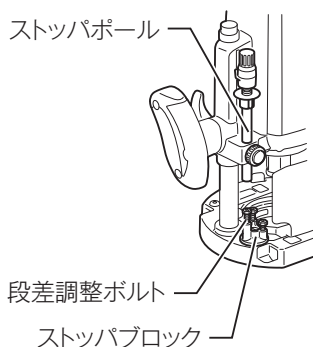
- ・ けがの原因になります。

- ・ ナイロンナットを回して上下させると本製品の上下移動の上限が変化します。ビットの先端がベース面より必要以上に引っ込むときは、ナイロンナットを回して本製品の上限を下げれば、能率的な作業が行えます。



ストッパブロックの使用法

- ・ ストッパにより、3種類の切り込み深さを設定できます。
- ・ 最も深い切り込み深さの調整を最も低い調整ボルトで行い、切り込み深さの差が段差調整ボルトの段差と等しくなるように、段差調整ボルトの高さを調整してください。
- ・ 段差調整ボルトの高さを変更する場合は、スパナ（8 mm）や⊕ドライバで回してください（1回転 0.8 mm）。
- ・ 深い溝を分けて加工する場合は、切り込み深さの調整をストッパブロックの一番低い段差調整ボルトで行い、加工時にストッパブロックを回転させて段差調整ボルトの高い方から順に当てて加工してください。



注

- ・ 切り込み深さが深いと、本製品の操作が困難になったり、モータに過負荷がかかります。
- ・ 溝切りの場合、1回の切り込み深さは、20 mm 以下にしてください。
- ・ 深い溝を加工する場合は、2～3回に分けて加工してください。

使い方

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

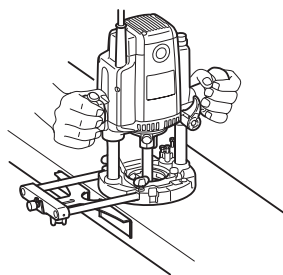
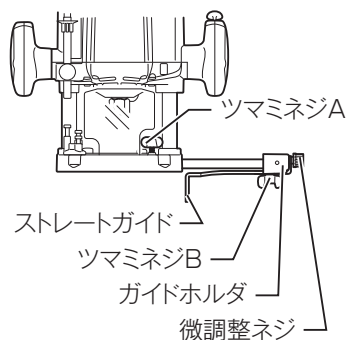
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

ストレートガイド

- ・ 直線に沿わせての面取り、溝切り加工に使います。

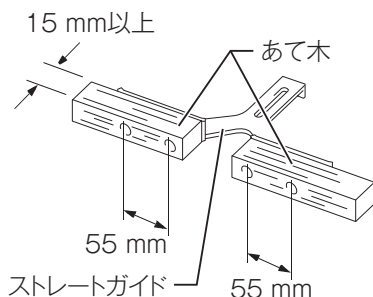
取り付け方

- ・ ツマミネジ B でストレートガイドをガイドホルダに取り付けてください。
- ・ ベースにある取り付け穴にガイドホルダを挿し込みツマミネジ A を締め付けて固定してください。
- ・ ストレートガイドとビットの距離の調整は、ツマミネジ B をゆるめて、微調整ネジを回すことにより行います（1 回転で 1.5 mm です）。
- ・ ストレートガイドのガイド面を材料の側面に沿わせて本製品を送ってください。



あて木を利用する場合

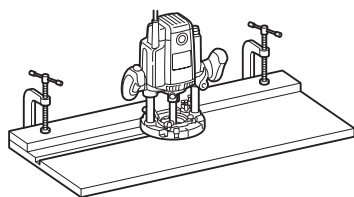
- ・ ストレートガイドのガイド面を長くとりたい時は、ストレートガイドの穴を利用してあて木をしてください。また外径の大きいビットを使う時はビットがストレートガイドに当たらないように 15 mm 以上の厚さのあて木をしてください。



使い方

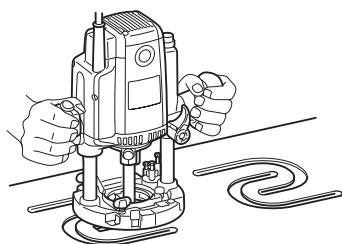
溝を切る位置が材料の端から遠く離れている場合

- ・ ストレートガイドは使えません。この場合はまっすぐなガイド面を持つものを材料にクランプなどで固定し、ベースをガイド面に沿わせて加工してください。



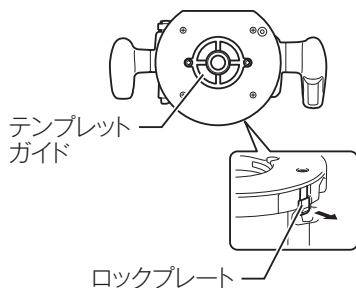
テンプレートガイド

- ・ 型板を用いて同形状の加工を繰り返し行う場合に使います。



取り付け方

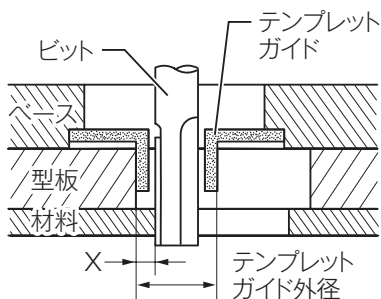
- ・ ロックプレートを引きいてテンプレートガイドをはめ込み、ロックプレートをもどします。



- ・ 材料は型板より X だけ離れた位置で加工されます。X の値は次式により計算してください。

$$X = \frac{\text{テンプレートガイド外径} - \text{ビット径}}{2}$$

- ・ 型板を材料の上に固定し、テンプレートガイドを型板に沿わせて加工してください。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを挿し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

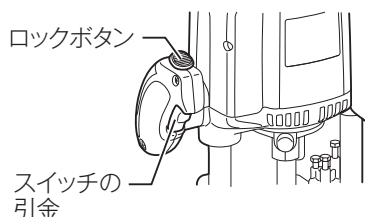
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを挿し込むと急に動きだし事故の原因になります。

⚠ 注意

本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかり保持してください。

- ・ 本製品を落としたりし、けがの原因になります。

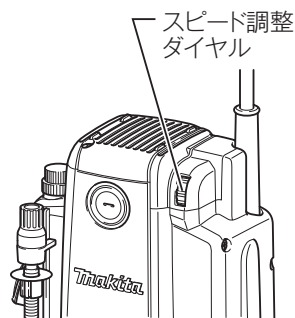
- ・ スイッチはロックボタンを押した状態でスイッチの引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを更に押し込むと引金を放しても引金が固定され連続運転します。停止するには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を放してください。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



使い方

スピード調整ダイヤルの操作（モデル RP2301FC のみ）

- ・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、回転数が自由に変えられます。
- ・ スピード調整ダイヤルを「6」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。



- ・ スピード調整ダイヤル数値と回転数の関係は表のとおりです。

スピード調整 ダイヤル数値	回転数 min ⁻¹ （回転 / 分）
1	9,000
↷	↷
2	11,000
↷	↷
3	14,000
↷	↷
4	17,000
↷	↷
5	20,000
↷	↷
6	22,000

注

- ・ スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 6 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1 → 2 → 3…6、6 → 5 → 4…1 の範囲で回してください。

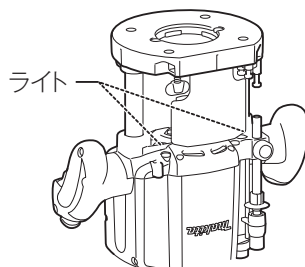
使い方

ライトの点灯（モデル RP2301FC のみ）

⚠ 警告

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てたりしないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。
- ・ スイッチの引金を引くと点灯し、放すと 10 ～ 15 秒で消灯します。



注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズの掃除の際は、ガソリン・シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。

使い方

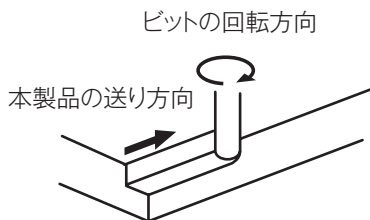
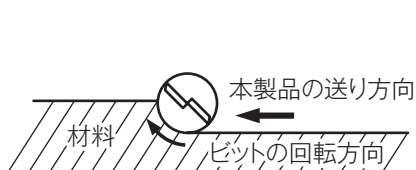
加工方法

- ・ 材料にビットが触れない位置でスイッチを入れた後、本製品を下げたベース面を材料に密着させ本製品を送ってください。

⚠ 注意

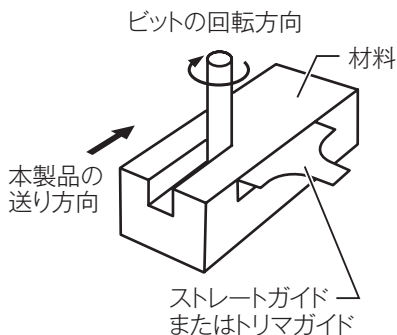
材料の側面を加工するときは、本製品の送り方向に向かって加工面がビットの左側に来るようにしてください。

- ・ 逆方向に本製品を送ると反発が大きく、けがの原因になります。



注

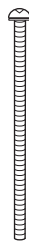
- ・ ロックレバーをゆるめたときに本製品が自動的に上昇し、ビットがベース面より内側へ入ることを確認してください。
- ・ チップディフレクタが正しく取り付けられているか確認してください。
- ・ ビット径、ビット回転数、本製品の送り速度、加工材の種類などの関係により、加工面にこげ跡がついたり（木材の場合）、溶けたり（樹脂の場合）するなど、加工面の状態が変化します。実際の作業の前に試し切りを行ってください。
- ・ ストレートガイド、トリマガイドを使用する場合は、本製品の送り方向に対して右側に取り付けてください。



使い方

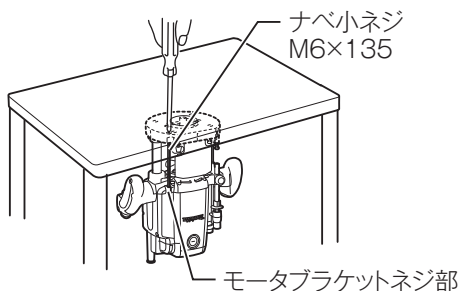
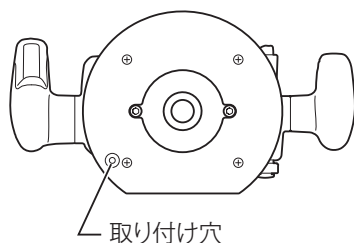
切り込み深さ調整用ナベ小ネジ M6 × 135 の使用方法

- この付属品は、本製品を市販のルータテーブルに取り付けた際に、テーブル上面側からの切り込み深さを微調整に使用します。

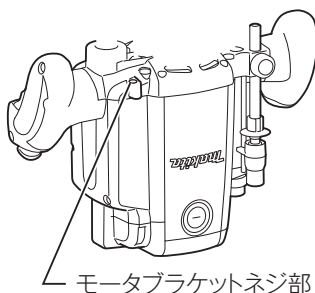
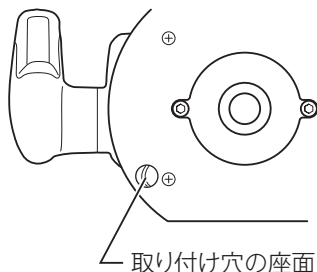


ナベ小ネジ M6×135

- ナベ小ネジをベース部の取り付け穴を通して、モータブラケットのネジ部に取り付けます。



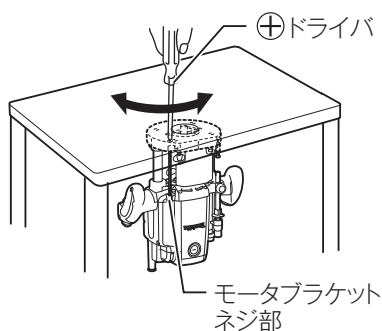
- この時、取り付け穴の座面および、モータブラケットのネジ部にグリスまたは潤滑油を塗布してください。



使い方

切り込み深さ調整

- ・ テーブル上面側より⊕ドライバでナベ小ネジを回すことにより、切り込み深さの微調整が可能です（1回転で 1.0 mm）。
- ・ 時計回りに回すと、切り込み深さが深くなり、反時計回りに回すと切り込み深さが浅くなります。



別販売品の使い方

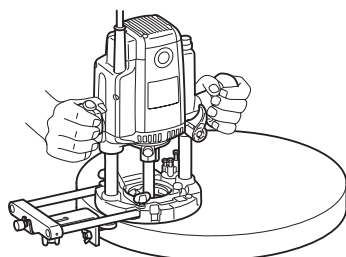
⚠ 警告

別販売品の取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

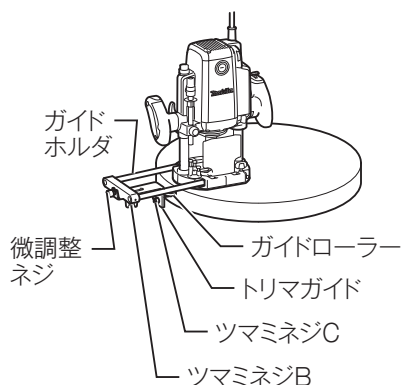
トリマガイド

- ・ デコラ、ベニヤ張りの家具、建具のトリミング、および曲面加工に使用します。

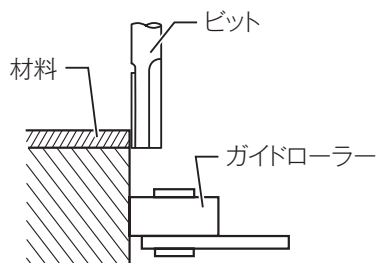


取り付け方

- ・ ガイドホルダのツマミネジBにより取り付けます。ツマミネジBをゆるめ、微調整ネジ（1回転1.5mm）を回せば、ビットからガイド面までの幅が調整できます。ツマミネジCをゆるめると、ガイドローラーを上下方向に移動させることができます。



- ・ トリマガイドのガイドローラーを材料の側面に沿わせて本製品を送ってください。



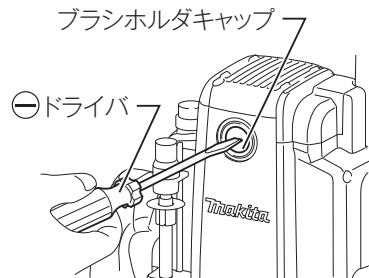
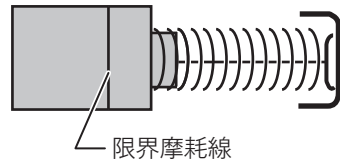
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両側とも同時に行ってください。



本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882403F8
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）